

令和3年度の重点目標

意欲を育む授業

1 重点目標設定の意図

新学習指導要領において、主体的・対話的で深い学びの授業の追求が示されました。このような授業を実現するためには、児童生徒が学習課題に対して意欲をもち、自発的に取り組もうとすることが大切です。

当校の研修部も、新学習指導要領で示された3観点からの指導と評価の在り方を追求することから、本年度の当校の重点目標を標記テーマとしたいと思います。

2 意欲を育む授業とは

児童生徒の意欲を育むためには、授業で設定する課題が児童生徒にとって容易過ぎず難し過ぎない適度な負荷となっていること、つまり少し頑張ればできそうな課題となっていることが大切です。

その上で、単元や題材を進める上で、意欲を喚起していくためには、次の点を工夫することが大切です。

(1) 単元・題材の導入時に興味・関心をもたせること

単元・題材の導入時には、児童生徒が好奇心を抱くような教材を提示したり、教師が引き付けるような働き掛けをしたりすることが大切です。このことにより、授業に対して興味・関心をもたせ、学習課題に対して主体的に取り組もうとする姿勢が生まれます。

(2) 目標や見通しをもたせること

単元や題材が進むとともに、活動への意欲が増すことで、もっと知りたい、もっと頑張りたいという深い学びに向かうことができます。

そのためには、明確な目標をもたせたり、活動の流れを分かりやすく示したりすることが大切です。

3 対話的な授業の推進

当校の重要課題であるコミュニケーションの力を育むためには、対話的な授業を積極的に行っていくことが大切です。児童生徒それぞれのコミュニケーションのやり方を基に、やりとりの楽しさを味わえるように指導・支援していくことで、自ら周囲に働き掛けようという意欲を醸成していくことができます。